

5、国民の観光レクリエーションの概況

概況

(1) 過去1年間の国内宿泊観光旅行の動向

国民の旅行経験率等(国民単位での分析結果)

項目	区分	国民単位での分析結果	コメント
旅行経験率	全宿泊旅行	61.1(68.3)%	国内宿泊旅行を行った者は、この5年間で1割強減少している。 観光を主目的とする国内宿泊観光旅行も同様に減少している。
	観光旅行(純観光のみ)	48.8(54.5)%	
	観光旅行(純観光+兼観光)	53.6(60.2)%	
旅行回数(注3)	全宿泊旅行	1.618(1.987)回	国内宿泊旅行回数もこの5年間で1.5割~2割減少した。
	観光旅行(純観光のみ)	1.018(1.209)回	
	観光旅行(純観光+兼観光)	1.171(1.422)回	
旅行費用(注4)	総額 / 経験者	71,790(84,950)円	宿泊観光旅行経験者は、旅行年間支出を1.5割もカット。

(注1)純観光とは、観光が主目的の旅行であり、兼観光とは、業務、帰省、学業等ついで
の観光旅行を示す。以下、「宿泊観光旅行」とは、純観光の宿泊旅行を指す。

(注2)()内の数字は、平成7年9月~8年8月に実施した前回値である。

(注3)全体平均として、宿泊旅行をしなかった者を含む。

(注4)宿泊観光旅行経験者の平均である。

宿泊観光旅行の特性(旅行単位での分析結果)

項目	区分	旅行単位での分析結果	コメント		
宿 泊 観 光 旅 行 (純 観 光 の み)	旅行月	8月	18.7(19.3)%	7~8月に28%の旅行が集中しているが、集中度合いはやや緩和した。	
		7月	9.3(9.3)%		
		2月	8.7(8.8)%		
旅 行 の 特 性	旅行日数	1回平均	2.50(2.60)日	旅行日数は、やや減少した。	
		目的地での行動	温泉などでの休養	52.0(51.3)%	温泉が根強い人気。自然、風景鑑賞は減少した。
			自然・風景鑑賞 特産品などの買物・飲食	39.1(45.0)% 24.2(24.7)%	
光 旅 行 (純 観 光 の み)	往復の主要交通機関	自家用車	54.2(53.1)%	鉄道が減少して、自家用車、貸切バスが増加した。	
		鉄道	19.7(21.5)%		
		貸切バス	18.7(16.5)%		
行 き 方 (純 観 光 の み)	同行者の種類	家族関連	55.5(51.7)%	団体が減少して、家族、友人・知人が増加した。	
		友人・知人	25.3(23.2)%		
		団体関連	8.9(10.6)%		
光 旅 行 (純 観 光 の み)	同行者の人数	2~5人	59.2(53.3)%	5人までの少人数化が進展した。	
		6~14人	16.0(18.2)%		
		15人以上	15.6(17.2)%		
光 旅 行 (純 観 光 の み)	利用宿泊施設	ホテル・ビジネスホテル	38.8(33.5)%	民宿、寮・保養所が減少して、ホテル、旅館が増加した。	
		旅館	33.0(31.0)%		
		ユースホステル・国民宿舎	6.8(6.7)%		
み ま り	旅行費用	総額 / 人回 34,360(38,280)円 うち宿泊費 14,340(15,330)円 うち交通費 9,540(10,390)円	1回当たりの旅行費用総額は、1割減少した。全体的に節約旅行となっている。		

(注1)()内の数字は、平成7年9月~8年8月に実施した前回値である。

(2) 冬季(1、2月)と夏季(7、8月)の日帰り観光旅行の動向

調査票における日帰り旅行の定義は、日帰り又は夜行日帰りの観光(レクリエーション・スポーツなども含まれる。)とした。これには、日常生活圏をはなれ、演劇・音楽等の鑑賞、テニス、ボーリング等のスポーツ、飲食・買物などで半日以上かけておこなうものも含む。

国民の旅行経験率等(国民単位での分析結果)

区分 項目	冬 季 (13年1・2月)	夏 季 (12年7・8月)	コ メ ン ト
経験率	30.3% (38.2%)	39.7% (45.5%)	日帰り旅行経験者も大幅な減少。 特に冬季は2割以上の減少。
実施回数(注1)	0.646回 (0.856回)	0.920回 (1.151回)	国民全体の日帰り旅行回数も 2割～2.5割減少した。
平均総費用(注2)	14,560円 (15,420円)	13,600円 (15,840円)	日帰り観光旅行支出も減少。

(注1)全体平均であり、日帰り観光をしなかった者を含む。

(注2)日帰り観光経験者の平均である。

(注3)()内の数字は、冬季が平成8年1・2月、夏季が平成7年7・8月に実施した前回値である。

日帰り観光旅行の特性(旅行単位での分析結果)

区分 項目	冬 季 (13年1・2月)	コ メ ン ト
目的地での行動	温泉などでの休養 17.2(11.5)%	5年前に首位だった「スキー」 が大幅な減少となり、代わって 「温泉などでの休養」が5位か ら首位となった。また、「特産 品などの買物・飲食」も増加。
	特産品などの買物・飲食 16.0(12.0)%	
	ドライブ 15.3(13.6)%	
	社寺参詣 15.2(15.4)%	
	スキー 11.5(15.5)%	
平均総費用	6,820(6,890)円	ほとんど変わらず。

区分 項目	夏 季 (12年7・8月)	コ メ ン ト
目的地での行動	水泳 14.8(16.9)%	「水泳」がやや減少したが、 依然首位であった。また「特産 品などの買物・飲食」が増加し た。
	自然・風景鑑賞 14.7(14.3)%	
	ドライブ 13.3(14.7)%	
	特産品などの買物・飲食 12.6(10.7)%	
	遊園地・レジャーランド 11.7(11.8)%	
平均総費用	5,930(6,350)円	約7%の節約となった。

(3) 海外旅行の動向

区分 項目	国民単位での 分析結果	コ メ ン ト
過去1年間の 実績	旅行経験率 8.8(9.1)%	この1年間に海外旅行に行った 人の数も5年前に比べるとわずか ではあるが減少している。
	旅行回数(注1) 0.123(0.125)回	
これまでの 実績(注2)	旅行経験率 37.4(31.0)%	これまでの海外旅行経験者数は 増加している。
	旅行回数(注1) 1.458(1.098)回	

(注1)旅行回数は、海外旅行を経験しなかった者を含む。

(注2)昭和39年から平成13年8月までの間の実績を尋ねている。

性・年齢階層別特性

図 - 1 性・年齢別旅行経験率(宿泊観光/人)

男性は、30代、60代にピーク。特に10代、20代の低さが際立っている。女性は、20代、30代及び50代にピーク。また、男女とも70歳を越えると経験率は下がる。

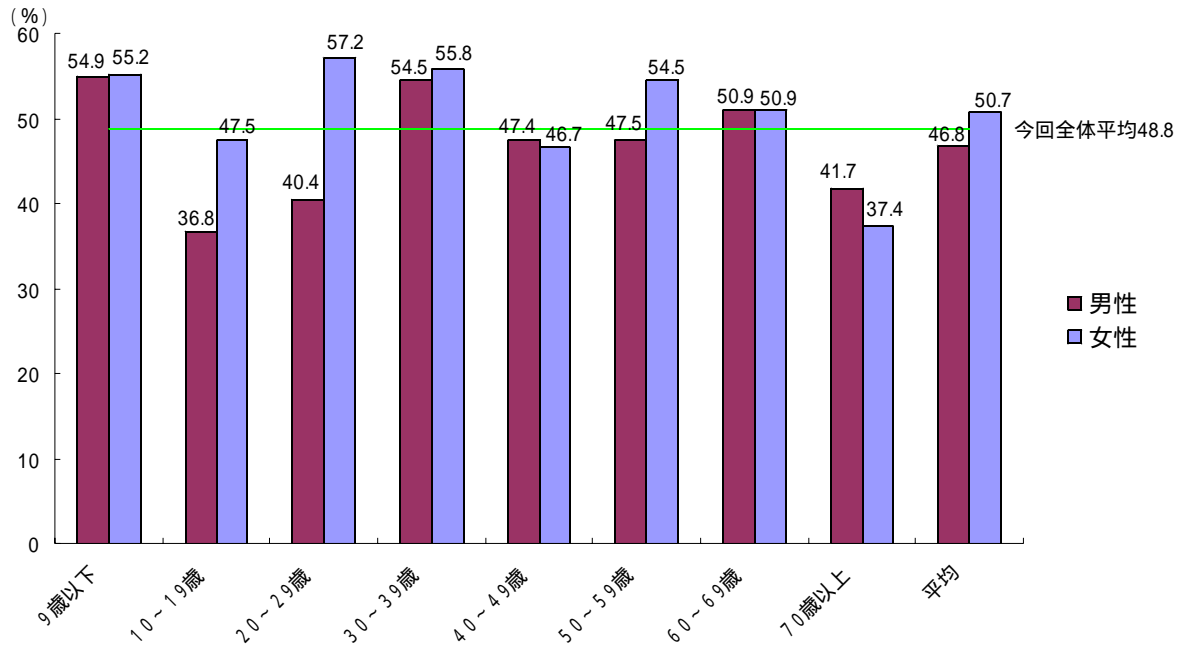


図 - 2 性・年齢別観光旅行回数

宿泊観光回数が多いのは、20代の女性と50代、60代。また、日帰り観光レクリエーションは、9歳未満と30代が多い。

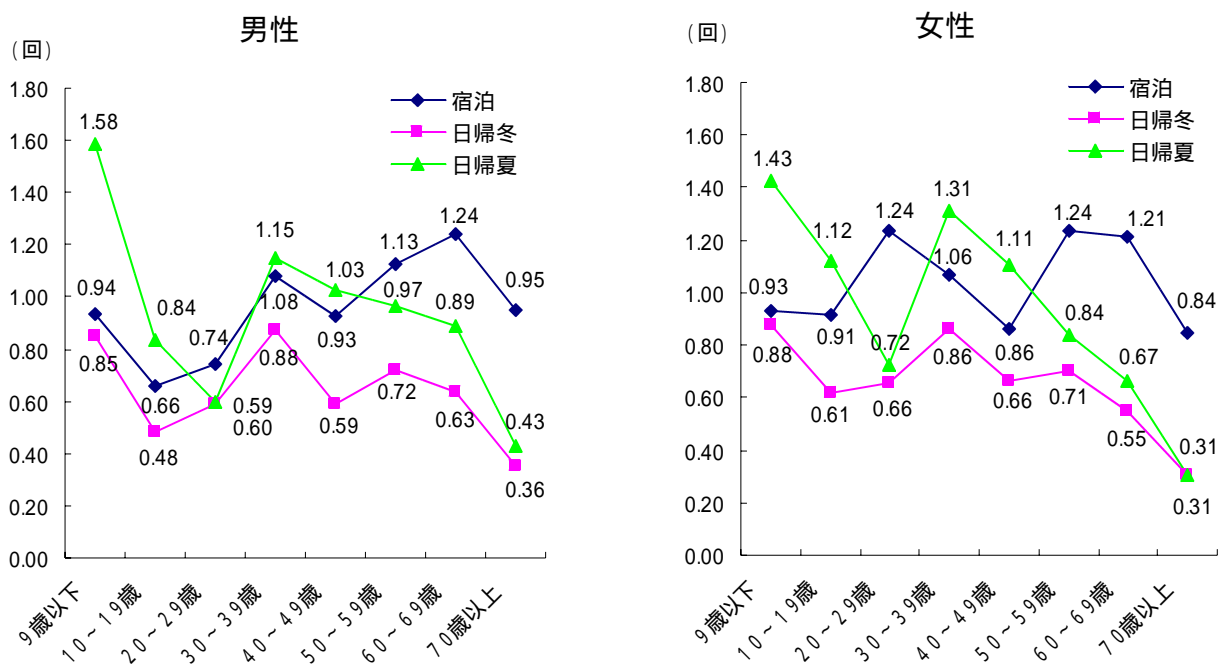


図 - 3 性・年齢別旅行日数(宿泊観光/人回)

10代、20代男性の宿泊観光旅行日数の長さが突出している。これらは、先に見た様に経験率は低い、一度出かけると長い。

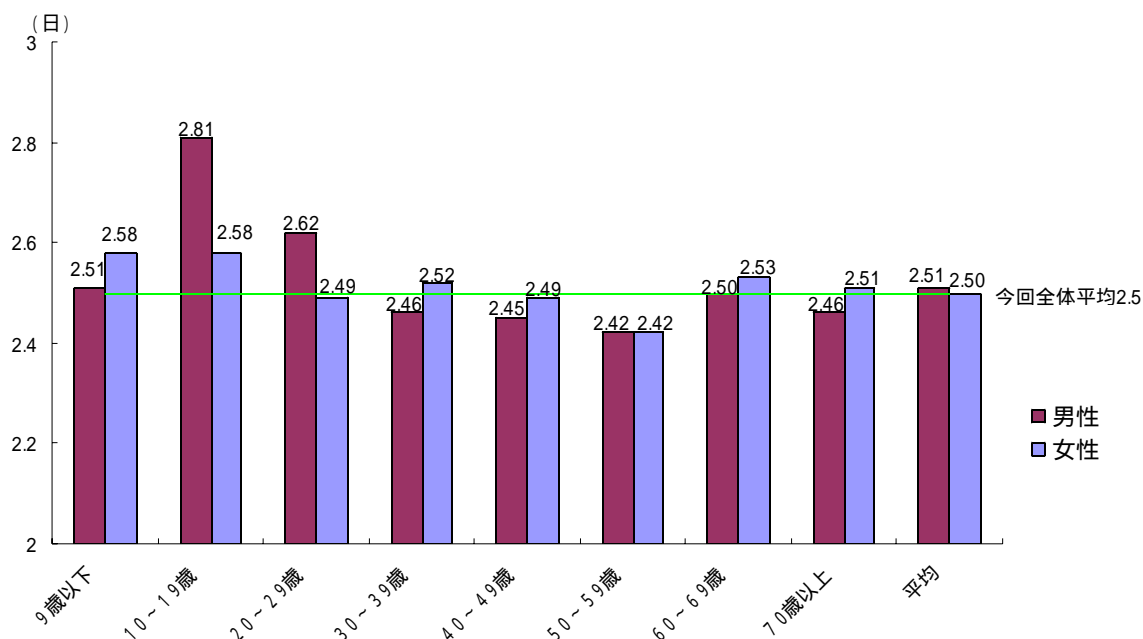


表 - 4 性・年齢別往復の主要交通機関<複数回答>(宿泊観光/人回)

総じて自家用車の利用が最も高いが、60代、70歳以上になると、貸切バス、鉄道が多い。女性の方が男性に比べ自家用車利用が少なく、鉄道をはじめ多様な交通機関を利用している。

	鉄道 JR・私鉄	路線バス	貸切バス	自家用車	航空機	その他	不明
0～9歳	12.2	2.1	2.5	79.3	4.6	8.9	0.4
10～19歳	17.3	2.6	21.5	59.2	4.7	6.8	0.5
20～29歳	16.1	5.9	9.8	63.9	9.8	5.5	0.8
30～39歳	14.9	4.7	7.8	66.8	8.4	9.3	1.6
40～49歳	15.4	2.7	9.4	69.8	3.7	8.1	0.3
50～59歳	14.6	4.5	17.0	56.0	12.4	11.8	2.2
60～69歳	15.4	4.6	29.1	49.5	8.8	8.4	1.8
70歳以上	32.3	8.1	40.4	21.7	7.2	14.9	2.1
平均	16.6	4.4	17.7	57.7	8.2	9.4	1.4

	鉄道 JR・私鉄	路線バス	貸切バス	自家用車	航空機	その他	不明
0～9歳	8.4	2.7	1.8	82.7	4.9	7.6	0.4
10～19歳	25.1	7.0	12.9	56.1	5.6	11.8	0.7
20～29歳	27.6	10.4	7.0	55.2	9.7	6.1	1.5
30～39歳	20.1	4.0	4.0	66.5	8.0	6.9	1.4
40～49歳	19.3	5.7	14.9	60.8	8.5	8.5	2.5
50～59歳	22.4	7.0	22.4	49.3	12.2	9.0	0.5
60～69歳	25.8	7.0	36.5	33.4	10.9	11.1	0.8
70歳以上	24.0	7.6	49.5	19.6	7.3	13.5	1.1
平均	22.4	6.7	19.6	51.2	9.1	9.2	1.1

(注1) 色塗り部分は、当該交通機関の比率が高い年齢層(男女各々上位2位まで)

(注2) 「その他」には、自家用バス、タクシー・ハイヤー、レンタカー、船舶、オートバイ、その他を含む。

表 - 5 性・年齢別利用宿泊施設＜複数回答＞(宿泊観光/人回)

男女、各年齢層ともホテル、旅館が大半を占めるが、比較的若い年齢層では、多様な宿泊形態がみられる。

男性										
										単位：%
	ホテル・ ビジネス ホテル	旅館	山小屋・ キャンプ場	ユース ホテル・ 国民宿舎	民宿	ペンション	寮・ 保養所	親戚・ 知人宅	その他	不明
0～9歳	40.9	18.6	5.9	12.2	5.1	2.5	6.8	3.8	7.6	0.8
10～19歳	29.3	24.1	10.5	11.0	8.4	3.7	4.7	7.3	11.0	1.0
20～29歳	41.6	22.0	2.7	5.9	5.9	4.3	3.5	7.8	7.1	3.9
30～39歳	46.0	24.5	3.4	6.2	5.6	2.8	5.0	5.6	4.3	2.2
40～49歳	36.9	25.2	6.7	10.1	6.7	3.4	6.4	2.7	7.7	0.7
50～59歳	39.9	35.4	3.2	5.8	5.1	1.1	5.4	3.4	4.1	4.1
60～69歳	37.3	43.9	2.2	7.6	3.0	1.4	3.2	2.0	5.2	3.0
70歳以上	32.3	51.5	0.4	2.6	4.3	0.4	2.1	3.0	4.3	3.8
平均	38.6	32.2	3.9	7.4	5.2	2.2	4.6	4.0	5.9	2.7

女性										
										単位：%
	ホテル・ ビジネス ホテル	旅館	山小屋・ キャンプ場	ユース ホテル・ 国民宿舎	民宿	ペンション	寮・ 保養所	親戚・ 知人宅	その他	不明
0～9歳	36.0	18.2	6.7	10.2	4.0	4.0	9.3	9.8	9.8	0.4
10～19歳	33.4	21.3	6.3	9.4	4.9	3.5	5.2	8.4	11.1	0.7
20～29歳	42.6	23.2	1.9	2.9	6.3	7.7	3.4	8.0	6.5	2.2
30～39歳	43.0	22.9	4.3	6.9	4.3	3.7	6.0	5.4	6.0	1.7
40～49歳	38.6	30.1	3.5	8.5	3.2	2.8	3.8	6.0	6.6	2.8
50～59歳	42.6	39.5	1.8	5.0	2.2	0.8	3.5	4.3	4.5	3.2
60～69歳	40.8	44.9	2.0	5.3	3.9	0.6	2.9	2.5	4.1	2.9
70歳以上	26.2	59.6	0.7	5.1	2.5	0.0	0.7	4.0	2.2	3.6
平均	39.0	33.6	3.0	6.2	3.8	2.7	4.1	5.6	6.0	2.4

(注1) 色塗り部分は、当該宿泊施設の比率が高い年齢層(男女各々上位2位まで)

(注2) 「その他」には、別荘・貸別荘、車船中泊、その他を含む。

表 - 6 性・年齢別同行者の人数(宿泊観光/人回)

概ね、10代までと30代、40代は4～5人が多く、20代と50代以上は2人が多い。団体が多いのは、10代と60代以上の高年齢層である。

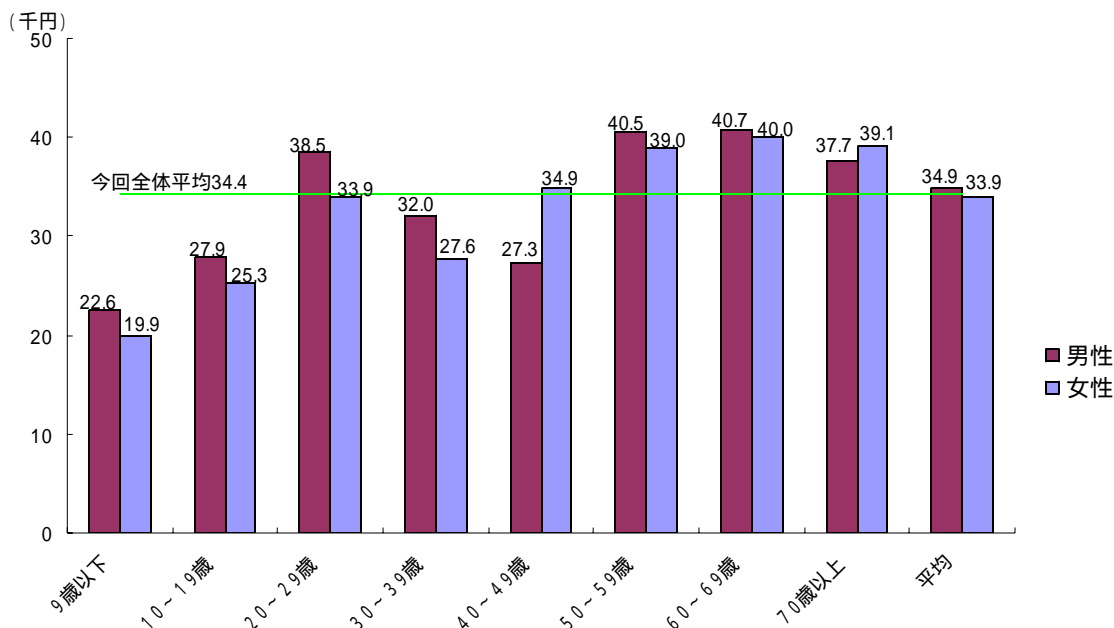
男性											
											単位：%
	1人	2人	3人	4～5人	6～10人	11～14人	15～30人	31～50人	51人以上	不明	
0～9歳	0.0	2.1	10.5	49.8	21.5	1.3	5.5	1.3	0.4	7.6	
10～19歳	2.1	4.2	7.9	35.6	15.7	3.1	13.1	7.9	7.3	3.1	
20～29歳	9.0	27.1	9.8	24.7	10.2	2.0	9.8	1.2	1.2	5.1	
30～39歳	9.3	13.0	13.0	31.7	15.8	1.9	7.1	1.6	0.9	5.6	
40～49歳	4.7	12.8	10.7	30.2	16.1	3.7	11.1	3.4	2.3	5.0	
50～59歳	4.9	31.5	9.4	16.9	13.3	3.6	8.6	3.2	2.2	6.6	
60～69歳	4.4	38.7	4.0	9.4	14.4	2.8	11.4	8.6	1.2	5.0	
70歳以上	6.8	40.4	2.1	8.5	7.7	2.1	14.5	8.1	4.3	5.5	
平均	5.3	24.0	8.3	23.3	14.3	2.7	10.0	4.5	2.2	5.6	

女性											
											単位：%
	1人	2人	3人	4～5人	6～10人	11～14人	15～30人	31～50人	51人以上	不明	
0～9歳	0.0	1.8	10.2	56.4	17.3	1.3	4.0	1.8	0.0	7.1	
10～19歳	2.1	6.6	10.1	34.8	19.2	1.7	11.1	5.2	4.2	4.9	
20～29歳	6.3	33.2	16.2	23.2	10.2	1.7	3.6	1.2	0.7	3.6	
30～39歳	0.9	16.6	14.3	40.7	13.8	1.1	5.7	1.1	0.6	5.2	
40～49歳	2.2	26.9	12.3	23.4	13.3	2.8	7.0	6.0	1.3	4.7	
50～59歳	4.0	39.5	11.0	15.1	12.4	2.3	5.5	4.3	2.7	3.2	
60～69歳	2.9	40.4	6.4	13.1	12.1	0.8	10.2	7.6	2.3	4.3	
70歳以上	5.5	17.5	7.6	13.1	12.4	2.5	21.5	9.1	4.7	6.2	
平均	3.2	26.6	11.0	24.7	13.3	1.8	8.1	4.6	2.1	4.6	

(注1) 色塗り部分は、当該同行者数の比率が高い年齢層(男女各々上位2位まで)

図 - 7 性・年齢別旅行費用<総額>(宿泊観光/人回)

50代以上の高齢層及び20代の男性の旅行費用が高い。



各年齢階層別に特性をまとめると以下の通りである。(旅行経験率、1回の旅行当たり旅行日数、利用交通機関、目的地での行動、利用宿泊施設、同行者、旅行費用について)なお、旅行経験率、旅行回数、旅行日数については、国民の年間単位での旅行、その他の項目については、国民の1回毎の旅行の集計結果を使用した。(図・表 - 1 ~ 7)

(1) 0~9歳

宿泊観光、日帰りレクリエーションとも他の年齢層に比べて経験率が高い。女性では、10代に並んで回数が最長。男女とも(家族が運転する)自家用車の利用率が各年齢層を通じてトップ。遊園地、温泉などでの休養のほか、水泳も多い。男女ともホテルが最も多いが、ユース・ hostel・国民宿舎、寮・保養所の利用も比較的多い。同行者は4~5人が圧倒的に多い。旅行費用は男女ともかなり低廉。

(2) 10~19歳

宿泊観光旅行、日帰りレクリエーションとも経験率が低い、特に男性が低い。旅行日数は各年齢層中で最長。特に男性は突出して長い。男女とも自家用車の利用率が高いが、鉄道、貸切バスも比較的高い。温泉などでの休養のほか、スポーツが高い。男女とも低廉な宿泊施設の利用率も高く、多様化がみられる。同行者数は4~5人が圧倒的に多いが、団体も比較的多い。旅行費用は低廉。

(3) 20~29歳

女性の宿泊観光旅行経験率は男女各年齢層を通して最大。また、男女格差も大きい。旅行日数は男性が長い。男女とも自家用車の利用が過半数を超えるが、女性は鉄道利用も高い。男女ともスキー、温泉などでの休養の比率が高い。男女ともペンションの利用率が他の年齢層に比べて高い。男女とも2人の旅行が最も多い。旅行費用は男性は高め、女性は平均並み。

(4) 30~39歳

宿泊観光旅行、日帰りレクリエーションとも活発。旅行日数は女性のみ平均をやや上回る。自家用車の利用が圧倒的に多い。温泉などでの休養、遊園地等の比率が高い。ホテルの利

用が多い。4～5人の旅行が多く、女性の1人旅が少ない。旅行費用は男女とも平均以下、女性は10歳未満、10代に次いで低い。

(5) 40～49歳

宿泊観光旅行、日帰りレクリエーションともに平均的な動き。旅行日数も平均的。自家用車の利用が多い。温泉などでの休養が最も多い。低廉な宿泊施設の利用が男性で比較的多い。男性では、2人の旅行が少ない。女性は平均的。旅行費用は男女間の開きが大きく、男性が低い。

(6) 50～59歳

女性の宿泊観光旅行が多い。旅行日数は短い。航空機の利用率が他の年齢層に比べて高い。温泉などでの休養のほか、自然・風景鑑賞も多い。ホテル・ビジネスホテル、旅館の利用が中心。2人の旅行が多い。男女とも旅行費用が高い。

(7) 60～69歳

男女とも宿泊観光旅行の回数は多いが、日帰りレクリエーションの回数は少ない。旅行日数は平均並み。鉄道や貸切バスの利用が比較的多い。温泉などでの休養のほか、自然・風景鑑賞も多い。旅館の利用が最も多い。2人の旅行が多いが、団体も比較的多い。男女とも各年齢層中トップ。

(8) 70歳以上

宿泊観光旅行、日帰りレクリエーションともに少ない。旅行日数は男性は平均以下、女性は平均並み。自家用車は少なく、貸切バスや鉄道の利用が多い。温泉などでの休養のほか、自然・風景鑑賞も多い。旅館の利用が多い。男性は2人が多いが、女性は15人以上の団体での旅行が多い。旅行費用は男女とも高い。

・休暇制度と旅行回数

1人当たりの宿泊観光旅行回数を、週休1日制と完全週休2日制の有職者で比較してみると、週休1日制の有職者は0.729回、完全週休2日制の有職者は1.368回と2倍近い開きがある。

また、夏季特別休暇など連続休暇制度の有無別にみても、ない有職者は0.911回であるのに対して、ある有職者が1.292回と大きな差がみられ、休暇制度の有無が旅行回数の大きな要因であることが分かる。

図 - 1 週休制度別旅行回数
(宿泊観光/人)

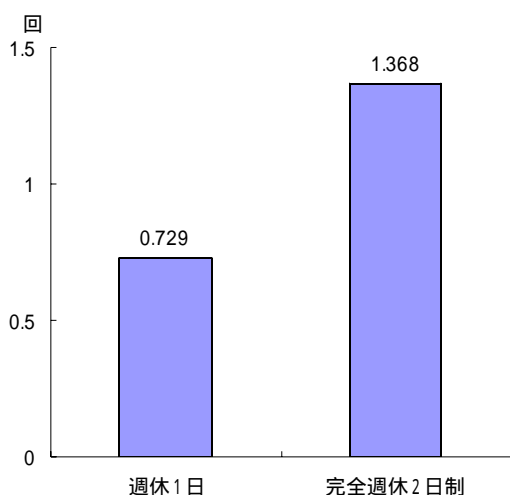
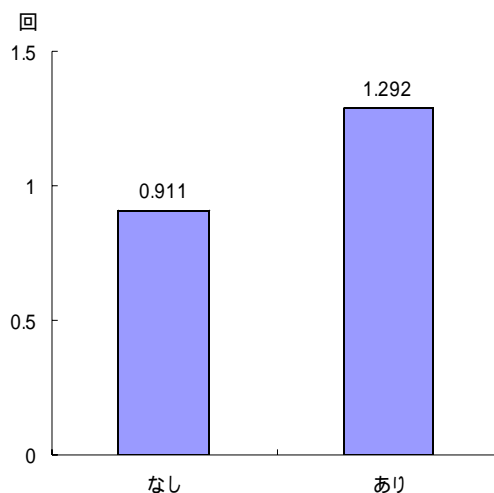


図 - 2 連続休暇制度の有無別旅行回数
(宿泊観光/人)



．旅行の発着地分析

宿泊観光旅行におけるブロック間流動の変化は下記のとおりである。

回収サンプル数の延回数に基づく結果であり、利用に関しては留意が要される面もみられる。

(1) 発地ベース

各発ブロック毎に旅行回数を100%として、発地側から旅行先(ブロック)をみると、北海道、東北、九州では域内旅行が目立つ。発地域ごとに特徴をみると、次の通りである。

- 【北海道】もともと域内旅行が多いところだが、さらにその比率が高まり、85%超に。
- 【東北】域内旅行が多いが比率はやや低下し、関東への旅行が増加した。
- 【関東】関東、北陸・甲信越、東海地方への旅行が多い。
- 【北陸・甲信越】域内旅行及び関東への旅行が増加した。
- 【東海】北陸・甲信越への旅行が減り、関東、近畿への旅行が増加した。
- 【近畿】中国・四国方面よりも、北陸・甲信越、東海方面が人気であった。
- 【中国】域外旅行では、九州が最も多い。
- 【四国】域内旅行が最も少ない地域だが、増加傾向にある。また、近畿が多い。
- 【九州】域内旅行が多く、8割近くとなった。近畿よりも関東がやや多い。

ブロック間流動の変化(発地ベース構成比)

(上段：前回、下段：今回 単位%)

発	着										合計
	北海道	東北	関東	北陸・甲信越	東海	近畿	中国	四国	九州	着地不明	
北海道	79.9	2.7	5.4	1.5	1.3	2.7	0.4	0.8	3.4	4.0	102.1
	85.2	2.4	4.5	0.7	0.7	2.1	0.7	0.0	1.7	2.7	100.7
東北	2.1	70.9	9.2	3.5	1.7	1.7	1.2	0.0	2.4	10.4	103.1
	3.3	65.5	15.9	5.4	1.3	0.8	0.8	0.0	3.6	5.1	101.5
関東	3.5	9.2	36.8	25.7	17.4	3.2	0.4	0.4	2.7	3.7	103.1
	3.2	9.6	36.8	20.7	14.8	3.9	0.3	0.1	3.0	9.8	102.2
北陸・甲信越	2.7	8.0	15.2	39.5	15.6	5.5	0.0	0.2	2.3	13.9	102.9
	1.5	7.1	21.6	48.2	7.1	6.5	0.4	0.6	1.9	7.8	102.7
東海	3.1	2.1	11.0	26.9	40.0	8.4	1.5	0.4	3.1	5.5	101.8
	4.5	0.9	14.0	19.8	39.9	12.8	1.4	1.5	4.3	4.4	103.5
近畿	3.8	1.3	7.3	15.9	13.9	35.0	11.9	4.0	4.7	4.3	102.0
	2.5	2.2	8.0	15.6	13.9	36.5	7.7	4.1	7.7	4.4	102.5
中国	3.9	1.2	7.4	4.2	2.5	10.2	45.4	8.6	15.3	7.2	105.8
	1.9	0.7	5.9	4.4	5.6	13.7	46.3	10.0	15.6	0.0	104.1
四国	3.3	2.5	5.7	8.2	5.7	17.2	15.6	18.0	15.6	15.6	107.4
	0.8	0.0	19.8	5.6	0.8	34.9	8.7	25.4	6.3	1.6	104.0
九州	1.1	2.1	4.3	3.4	3.0	3.9	3.0	2.4	73.7	6.0	102.8
	1.2	1.2	6.3	1.9	1.7	5.3	4.4	1.2	77.7	1.5	102.4
全国計	8.5	8.8	18.8	19.7	16.1	9.6	5.3	1.8	8.4	5.8	102.8
	7.2	9.1	19.9	17.7	14.8	11.3	4.4	2.1	10.1	5.9	106.9

(参考)有効回収標本構成

宿泊旅行及び海外旅行については、3月、9月調査ともに回収できた世帯、日帰り旅行については、「冬季」は3月調査、「夏季」は9月調査ごとに回収できた世帯について分析を行っており、また、有効回収標本構成は下記のとおりである。

ブロック別

区分	3月・9月調査ともに回収		3月調査で回収		9月調査で回収	
	世帯員数(人)	構成率(%)	世帯員数(人)	構成率(%)	世帯員数(人)	構成率(%)
全体	5,425(6,265)	100(100)	6,600(7,412)	100(100)	6,433(7,214)	100(100)
北海道	231(300)	4.3(4.8)	268(331)	4.1(4.5)	277(333)	4.3(4.6)
東北	437(482)	8.1(7.7)	533(566)	8.1(7.6)	480(558)	7.5(7.7)
関東 (うち東京)	1,374(1,894) (440)((609))	25.3(30.2) (8.1)(9.7)	1,779(2,243) (587)((756))	27.0(30.3) (8.9)(10.2)	1,720(2,134) (555)((669))	26.7(29.6) (8.6)(9.3)
北陸・甲信越	508(489)	9.4(7.8)	591(571)	9.0(7.7)	535(591)	8.3(8.2)
東海	754(845)	13.9(13.5)	897(953)	13.6(12.9)	883(933)	13.7(12.9)
近畿	895(908)	16.5(14.5)	1,034(1,115)	15.7(15.0)	1,092(1,073)	17.0(14.9)
中国	370(494)	6.8(7.9)	450(553)	6.8(7.5)	412(552)	6.4(7.7)
四国	214(190)	3.9(3.0)	250(224)	3.8(3.0)	239(240)	3.7(3.3)
九州	642(663)	11.8(10.6)	798(856)	12.1(11.5)	795(800)	12.4(11.1)

性・年齢別

区分	3月・9月調査ともに回収		3月調査で回収		9月調査で回収	
	世帯員数(人)	構成率(%)	世帯員数(人)	構成率(%)	世帯員数(人)	構成率(%)
全体	5,425(6,265)	100(100)	6,600(7,412)	100(100)	6,433(7,214)	100(100)
男性	2,630(3,055)	48.5(48.8)	3,201(3,631)	48.5(49.0)	3,117(3,511)	48.5(48.7)
0～9歳	253(321)	4.7(5.1)	308(375)	4.7(5.1)	308(374)	4.8(5.2)
10～19歳	291(436)	5.4(7.0)	367(511)	5.6(6.9)	352(498)	5.5(6.9)
20～19歳	344(369)	6.3(5.9)	461(496)	7.0(6.7)	422(440)	6.6(6.1)
30～19歳	299(373)	5.5(6.0)	370(458)	5.6(6.2)	355(428)	5.5(5.9)
40～19歳	321(487)	5.9(7.8)	389(568)	5.9(7.7)	386(556)	6.0(7.7)
50～19歳	474(458)	8.7(7.3)	568(521)	8.6(7.0)	553(533)	8.6(7.4)
60～19歳	401(384)	7.4(6.1)	451(432)	6.8(5.8)	451(422)	7.0(5.8)
70歳以上	247(227)	4.6(3.6)	287(270)	4.3(3.6)	290(260)	4.5(3.6)
女性	2,795(3,210)	51.5(51.2)	3,399(3,781)	51.5(51.0)	3,316(3,703)	51.5(51.3)
0～9歳	241(309)	4.4(4.9)	286(360)	4.3(4.9)	284(362)	4.4(5.0)
10～19歳	314(402)	5.8(6.4)	376(464)	5.7(6.3)	388(462)	6.0(6.4)
20～19歳	334(397)	6.2(6.3)	451(516)	6.8(7.0)	417(475)	6.5(6.6)
30～19歳	328(404)	6.0(6.4)	403(471)	6.1(6.4)	382(453)	5.9(6.3)
40～19歳	366(499)	6.7(8.0)	441(574)	6.7(7.7)	444(570)	6.9(7.9)
50～19歳	483(469)	8.9(7.5)	572(542)	8.7(7.3)	549(532)	8.5(7.4)
60～19歳	403(401)	7.4(6.4)	467(457)	7.1(6.2)	457(461)	7.1(6.4)
70歳以上	326(329)	6.0(5.3)	403(397)	6.1(5.4)	395(388)	6.1(5.4)

職業別

区分	3月・9月調査ともに回収		3月調査で回収		9月調査で回収	
	世帯員数(人)	構成率(%)	世帯員数(人)	構成率(%)	世帯員数(人)	構成率(%)
全体	5,425(6,265)	100(100)	6,600(7,412)	100(100)	6,433(7,214)	100(100)
農林漁業	188(179)	3.5(2.9)	203(208)	3.1(2.8)	199(219)	3.1(3.0)
商工サービス業主	253(291)	4.7(4.6)	281(342)	4.3(4.6)	296(330)	4.6(4.6)
自由業(主)	67(118)	1.2(1.9)	86(139)	1.3(1.9)	91(135)	1.4(1.9)
管理職	244(307)	4.5(4.9)	295(352)	4.5(4.7)	287(352)	4.5(4.9)
専門・技術職	360(381)	6.6(6.1)	450(477)	6.8(6.4)	431(435)	6.7(6.0)
事務職	465(547)	8.6(8.7)	575(657)	8.7(8.9)	554(620)	8.6(8.6)
販売・サービス職	398(421)	7.3(6.7)	521(523)	7.9(7.1)	477(486)	7.4(6.7)
労務・技能職	538(612)	9.9(9.8)	660(718)	10.0(9.7)	620(707)	9.6(9.8)
主婦	820(932)	15.1(14.9)	965(1,047)	14.6(14.1)	949(1,041)	14.8(14.4)
学生	257(330)	4.7(5.3)	358(421)	5.4(5.7)	314(375)	4.9(5.2)
生徒	511(712)	9.4(11.4)	608(793)	9.2(10.7)	613(815)	9.5(11.3)
幼児	250(300)	4.6(4.8)	295(362)	4.5(4.9)	292(336)	4.5(4.7)
乳児	45(89)	0.8(1.4)	53(110)	0.8(1.5)	58(131)	0.9(1.8)
その他	134(135)	2.5(2.2)	161(162)	2.4(2.2)	160(156)	2.5(2.2)
無職	855(910)	15.8(14.5)	1,031(1,090)	15.6(14.7)	1,032(1,070)	16.0(14.8)
不明	40(1)	0.7(0.0)	58(11)	0.9(0.1)	60(6)	0.9(0.1)